



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

			12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3040	3.3190	3.3170	3.3350	3.3020	-0.0330
	BRL/JPY	Spot	34.35	34.25	34.00	33.63	34.11	+0.48
	EUR/USD	Spot	1.1782	1.1739	1.1814	1.1794	1.1756	-0.0038
	USD/JPY	Spot	113.53	113.55	112.61	112.16	112.59	+0.43
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.746	6.746	6.732	6.728	6.717	-0.010
	Future	1Year(p.a.)	6.945	6.934	6.914	6.916	6.915	-0.001
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.566	2.504	2.543	2.578	2.600	+0.022
	USD	1Year(p.a.)	2.696	2.675	2.735	2.799	2.814	+0.015
株式	Bovespa指数		72,800.06	73,813.56	72,914.31	72,428.94	72,607.69	+178.75
CDS	CDS Brazil 5y		167.58	164.92	164.89	167.37	166.44	-0.94
商品	CRB指数		185.492	183.414	183.365	184.218	184.524	+0.305

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは下院での年金改革法案の来年への投票延期を受けて6月下旬以来となる3.3460へ下落。
- 週初のレアルは3.2900で寄り付いた。前週末のアルキミン・サンパウロ州知事が年金改革法案を支持するとの報道を受けて3.2740まで上昇。然しながら同法案の年内下院投票は難しいとの見方から売られ、3.33台へと下落した。その後、年明けにルラ元大統領の2審が開始すると報道されるとブラジル資産買戻しの動きが見られたが、伯政府が正式に下院投票を来年2月に延期することを決定。再び売りが強まったレアルは週間安値となる3.3460まで下落した。週末にかけては年金改革を巡る動きが一巡する中、大口の資金流入に支えられて買戻しが進行。結局、3.3020で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.89%から0.91%へ、2018年は2.60%から2.62%へそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が3.03%から2.88%へ下方修正されたが、2018年は4.02%で据え置き。為替レートは2017年末が3.25、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 12日、ルラ元大統領の汚職容疑にかかる第2審について、裁判所は1月24日に審理を開始することを決定した。2審でも有罪となった場合、同氏は来年の大統領選に出馬できない可能性が高い。放漫財政で財政赤字を拡大させた同氏の不出馬はブラジル資産にとって買い材料となった。
- 13日に開催された米FOMCでは予想通り0.25%の利上げを決定し、政策金利を1.25-1.50%のレンジに引き上げた。四半期毎に発表されるFOMCメンバーによる金利見通しに大きな変更は無く、予測中央値で2018年は3回の利上げが行われるとの見方を維持。市場の反応は限定的だった。
- 14日、マイヤ伯下院議長は18日の週に行うとしていた年金改革法案の下院採決について、可決に必要な票数を確保できていないとして来年2月に延期することを決定。引き続き賛成票の獲得に向けた交渉を続けるとしている。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



出所：Bloomberg

## 伯中銀は年金改革延期による影響を注視

12日、先週5-6日に開催されたCOPOMの議事録が公表された。先週発表された声明文では来年2月の次回会合で緩やかな追加利下げの可能性を示唆したが、議事録では追加利下げの判断にあたり年金改革の進展が遅れた場合の市場の反応を注視する伯中銀の姿勢が示された。14日に年金改革法案の下院採決の延期が決定したが、今のところ株式相場やCDSスプレッドに関して大きな混乱は見られず、市場では0.25%の追加利下げが行われるとの見方が強まっている。15日時点で金利先物市場は次回2月7日の会合での0.25%の利下げを75%織り込んでいる。



## 4.来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.25－3.35

来週のレアルは横ばいの動きを予想する。今週、年金改革法案の下院投票が来年2月に延期されることが決定し、短期的には同法案に対する市場の関心は低下すると見られる。また政府が来年の採決に向けて交渉を続ける姿勢を見せる中、格付け機関が早期に格下げを行う可能性は低い。年末に向けて大きなイベントを消化し、材料出尽くしからレアルは横ばいの推移を見込む。来週は国内で21日に伯中銀による四半期のインフレレポートが発表される。来年2月のCOPOMIにおいて追加利下げが行われる可能性が高まっているが、伯中銀の金融政策を占う上でインフレ率・経済成長率の見通しに注目したい。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEサービス部門売上高 前年比	-0.8%	-0.3%	-3.2%
ブラジル	税收	--	--	121144m
米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	18.7	18.0	19.4
米	鉱工業生産(前月比)	0.3%	0.2%	0.9%
米	設備稼働率	77.2%	77.1%	77.0%

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	12/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Dec	--	0.37%
ブラジル	12/18	経済活動(前月比)	Oct	--	0.4%
ブラジル	12/18	CNI産業信頼感	Dec	--	56.5
ブラジル	12/18	登録雇用創出合計	Nov	13600	76599
ブラジル	12/20	経常収支	Nov	--	-\$343m
ブラジル	12/20	海外直接投資	Nov	--	\$8240m
ブラジル	12/20	Federal Debt Total	Nov	--	3438b
ブラジル	12/21	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Dec	--	2.77%
ブラジル	12/21	長期レート	Jan/01	--	7.00%
米	12/21	GDP(年率/前期比)	3Q T	3.3%	3.3%
ブラジル	12/22	FGV建設コスト(前月比)	Dec	--	0.28%
ブラジル	12/22	FGV消費者信頼感	Dec	--	86.8
ブラジル	12/22	ローン残高(前月比)	Nov	--	0.1%
ブラジル	12/22	融資残高	Nov	--	3052b
ブラジル	12/22	個人ローンデフォルト率	Nov	--	5.6%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。